



2020年4月13日

各位

会社名 リソルホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 平田 秀明
(コード番号 5261 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員経理部長 大澤 勝
(TEL. 03-3344-8861)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月13日に公表しました2020年3月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2020年3月期 連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 21,500	百万円 1,000	百万円 1,900	百万円 1,450	円 銭 261.04
今回修正予想 (B)	20,510	438	1,082	136	24.56
増減額 (B-A)	△990	△562	△818	△1,314	
増減率 (%)	△4.6	△56.2	△43.1	△90.6	
(ご参考) 前期連結実績 (2019年3月期)	20,950	767	1,554	1,425	256.55

修正の理由

当連結会計年度の通期業績予想につきましては、当期期初においてホテル運営施設の2019年4月までの2件の新規開業、再生エネルギー事業における福島県石川郡の太陽光発電事業の売電収入、投資再生事業において2020年3月までに継続してゴルフ場売却を予定するなどを見込んでおり、前期(2019年3月期)比で増収増益を見込んでおりました。

ホテル運営事業におきましては予定どおり2件の新規ホテル開業し、当初の予定どおり推移いたしました。再生エネルギー事業におきましては太陽光設備が完成し、2020年1月に売電開始し、当初予定どおり推移いたしました。また、投資再生事業においては2020年3月に株式会社岡崎ゴルフ倶楽部の全株式を売却し、期初の見込みどおり推移いたしました。

しかしながら新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的規模の拡大に伴って当社が2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信」で公表した予想(期首予想)の前提となる事業環境とは大きく異なっております。

ホテル運営事業において2020年2月以降訪日外国人や国内利用客の減少により稼働率が悪化し売上高で702百万円、CCRC事業においても180百万円等の影響が生じたことから、前回予想から990百万円減少の

20,510百万円に修正いたします。

営業利益につきましては、上記コロナウイルス感染症の影響による売上高の減少および外注費等の継続的に発生していることによりホテル運営事業およびCCRC事業において590百万円の影響が生じたことから、前回予想から562百万円減少の438百万円に修正いたします。

経常利益につきましては、上記の売上高、営業利益等の減少により、前回予想から818百万円減少の1,082百万円に修正いたします。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の売上高減少及び経常利益の減益要因の他に、災害損失172百万円および従業員特別補償引当金繰入額204百万円の計上を見込んでいるため、前回予想から1,314百万円減少の136百万円に修正いたします。

なお、当該影響につきましては主に現時点で把握可能な情報を織り込んではおりますが、今後の状況等に伴い変動する可能性がございます。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上